平成30年度 第12回 大分大学医学部附属病院 介入臨床研究審査委員会 会議の記録の概要

開催日時	平成31年3月12日(火)16:30~16:57	
開催場所	大分大学医学部附属病院 病院第一会議室	
出席委員名	白尾委員長、安東委員、糸永委員、富永委員、石崎委員、井手委員、大嶋委員、進委員、廣田委員、二宮委員、海老名委員	

議題及び審議結果を含む主な議論の概要

■□■ 安全性静操告 ■□■

整理番号	研究題目	内容	審論課
B14-021	臨末病期 I B/II/III食道癌(T4 を除く)に対する術前で療法/ 術前DCF療法/術前CF-RT療法の第III相比較起験 (JCCG1109_NExT 試験)	安全性情報に基づき、自主臨末研究を継続することの妥当性について審議した。	承認

■□■ 実施・個書変更申請 ■□■

整理番号	研究題目	内容	審査結果
B11-045	超門満患者や内因性インスリン分泌不良糖尿病門満患者に対する腹腔鏡下スリーブ状胃切除術++二指腺空腸バイパス術(胆棒バイパス術)	実施計画書の変更こついて自主臨末研究を継続することの妥当性こついて審議した。	承認
B13-043	JPLSG MLL-10	実施計画書、説明文書・同意文書の変更について自主臨末研究を継続することの妥当性について審議した。	承認
B14-010	個別化病消導入療法臨末試験-1(PIT-1)	実施・個書、実施・個書別紙、説明文書・同意文書の変更について自主臨床研究を継続することの妥当性について審議した。	承認
B15-003	SST 術前導入療法臨末試験(SST)	実施・個書、実施・個書別紙、説明文書・同意文書の変更について自主臨末研究を継続することの妥当性こついて審議した。	承認

整理番号	研究題目	内容	審査結果
B14-018	低用量アスピリン服用中の胃腫瘍症例に対する内視鏡的粘膜 下層剥離網における消化管出血リスクについての多施設共同 無作為比較起験(SET-UP試験)	実施状況報告書に基づき、自主臨末研究を継続して行うことの妥当性について審議した。	承認
B14-039	JOOG1019: High grade TII開光癌のsecond TUR後TO患者に対するBOGI開光内注入療法と無治療経過観察のランダム化第111相試験	実施状況報告書に基づき、自主臨末研究を継続 して行うことの妥当性について審議した。	承認
B16-036	J00G1413	実施状況報告書に基づき、自主臨末研究を継続して行うことの妥当性について審議した。	承認

B16-039	KCOC-G1601 列巣明細胞癌の初垣再発・再燃例に対する Gemcitabine+Cisplatin+Bevacizumab併用(GPB)療法の臨 床第Ⅱ相試験	実施状況報告書に基づき、自主臨末研究を継続 して行うことの妥当性について審議した。	承認
B16-040	超音波ガイド下閉鎖神経ブロックInteradductor approach法の有効性こついて経尿道的膀胱腫瘍切除術を受けるにあたり閉鎖神経ブロックが必要な患者を対象とした比較試験	実施状況報告書に基づき、自主臨末研究を継続して行うことの妥当性について審議した。	承認
B16-047	初発時よりニロチニブが投与され分子遺伝学的完全寛解を2年間以上維持した慢性期の成人慢性胃髄性白血病症例に対する薬剤中止試験(N-STOP216計像)	実施状況報告書に基づき、自主臨末研究を継続して行うことの妥当性について審議した。	承認
B16-048	初発時よりダサチニブが投与され分子遺伝学的完全寛解を2 年間以上維持した慢性期の成人慢性骨髄生白血病症例に対する薬剤中止試験(D-STOP216試験)	実施状況報告書に基づき、自主臨末研究を継続 して行うことの妥当性について審議した。	承認
B16-049	TAKUMI Trial (LOGIK1604/NEJ032A)	実施状況報告書に基づき、自主臨末研究を継続して行うことの妥当性について審議した。	承認
B17-023	NEJ034	実施状況報告書に基づき、自主臨末研究を継続して行うことの妥当性について審議した。	承認
B17-026	同種造血幹細胞移植後再発再燃成人T細胞白血病・リンパ重こ 対するレナリドミドの安全性と有効性こ関する多施設共同前 方視的観察研究	実施状況報告書に基づき、自主臨末研究を継続して行うことの妥当性について審議した。	承認